日本キリスト教団 **東金教会〔７〕**

2019年2月17日降誕節第８主日礼拝

年度目標　《キリストに根を下ろして生きる》

聖　句　キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられた通りの信仰をしっかり守って…　コロサイ2章7節

【礼拝式次第】

司式	藤本	
奏楽	中村	
受付	津久	
案内	三枝	
名札係	藤本	
礼拝感謝祈祷	安延	
〃　〃	梅田	
前奏	中村	
讃美歌	68	一同
使徒信条	566	〃
交読文	7	司・会衆
主の祈り	564	一同
聖書	ルカ福音書8:4～15	司会者
祈祷	藤本	
新聖歌	255	一同
み言葉の伝え	朴	
〈教えるキリスト、きく私〉		
讃美歌	501	一同
献金		
礼拝感謝	安延	
〃　〃	梅田	
報告	藤本	
頌栄	541	一同
祝祷(派遣)	朴	
後奏	新聖歌58	聖歌隊

【集会案内】

聖書研究祈祷会　2月20日(水)午後7時半～
早天祈祷会　月-金7時(除祭日)メーヤー館
交わり会　本日礼拝後
婦人会・信交会・青年会　本日交わり会後
聖書輪読会　2月24日(日)9:50-10:10
礼拝準備祈祷会　2月24日(日)10:25-10:30

【報告】

☆本日は交わり会がございます。皆様のご出席をお待ちしております。また、交わり会後は夫々婦人会、信交会、青年会がございます。宜しくお願い致します。

☆2月22日(金)教会学校焼肉パーティーがございます。午後７時開始、お肉200グラムの持ち寄りです。お時間のございます方はぜひご参加下さい。

☆イースター(４月２１日)に受洗希望の方は中村牧師まで申出下さい。

【臨時長老会報告】

日時…2019.1.20　場所…いちょうルーム
出席…中村牧師　朴牧師　藤田(書記)
藤本　井上健
議事…クリスマス献金送付先決定

【定期長老会報告】(幼・保理事/評議員会合同)

日時…2019.2.10　場所…いちょうルーム
出席…教会側　中村牧師　朴牧師　藤田(書記)
藤本　井上
幼・保側　(理事)岡村 中村 朴
(評)足立照光 深山政治 松戸　小林
議事…西村氏宅地購入承認の件

【定期長老会報告】
議事…①行事予定(2/18-19 支区教師研修会‥中村出席/千私幼‥幼・保無償課説明会…朴出席 2/22 ＣＳ焼肉パーテイ 2/17交わり会 2/24ＣＳ教師会及びＣＳ説教検討会 2/26山田台集会 3/5東総分区牧師会 3/6灰の水曜日「-4/20レント」3/10 定期長老会 3/11支区常任委員会 3/19第91回幼稚園卒園式 3/17交わり会 3/20幼稚園終了式

【分区・支区・教区報告】

○支区教師研修会　2/18-19　於・鴨川

【2月17日～2月23日の誕生者】

○今井彬子姉　※おめでとうございます。主に繋がる枝々であることを覚え、皆で祈り合わせて参りましょう。

【先週集会状況】

集会名	男	女	計
主日礼拝(2/10)	15	20	35
聖研祈祷会(2/13)	2	3	5
聖書輪読会(2/10)	2	3	5
教会学校(2/10)	6	7	13

早天祈祷会

日	男	女	計
2/11	1	1	2
2/12	1	1	2
2/13	1	1	2
2/14	1	1	2
2/15	1	1	2

主日礼拝献金(2/10)……22,000円
教会学校献金(2/10)……6,250円

【今日のメッセージ】

題　[教えるキリスト、きく私]
聖　書　ルカ福音書8:4～15
1・教えるキリスト

2・きく私

3・良い土地に落ちた種

【次週(2月２４日)礼拝案内】

題　〈独り善がりの礼拝〉
聖　書　コロサイ書2:20～23
交読文　8
讃美歌　8番　290番
新聖歌　176番

【次週(2月24日)礼拝式当番】

御言葉の伝え…	中村征一郎
司式者…	安延春彦
奏楽者…	中里美穂子
受付者…	阿波谷美佐江
案内者…	藤田朋子
名札当番…	藤田英忠
礼拝感謝祈祷…	足立照光
〃　〃…	石丸末子
csお話し…	武田吉弘
会堂清掃者…	武田吉弘
〃　〃…	
花係…	小林恵子
看板書き…	藤田英忠

【聖書から】

偽りの謙遜と天使礼拝にふける者から、不利な判断を下されてはなりません。…(正しい信仰者は)神に育てられて成長してゆくのです。

コロサイ書二章一八、一九節

謙遜な者でありたい！

これは私たちの多くが望むことではないか。私たちは神を信じる者として、そのように誰からも認められる姿を持ちたいと思う。謙遜であることはキリスト者の大いなる美徳である。そのような願いをもつ我らに「偽りの謙遜」を指摘するパウロの言葉は耳に痛い。偽りとは本来の自分の本性を抱えつつ、本来の自分に合わぬものを身につけることである。ギリシャ語では「仮面を付ける」の意であると云う。パウロの手ひどい言葉を受けているグノーシス主義者の振舞の中にパウロはこのような演技を見たのであろう。けれどもそう考えると彼らグノーシス主義者に対し、何か痛々しい思いに駆られるのではないか。「信仰者らしくありたい！、信仰者として誰からも見られるような者になりたい！」、こういった思いから懸命にそう見られる演技を続ける者の無駄な努力を見るのである。そう、それは無駄な努力である。けれどもこういった無駄な努力から人はどうしたら解放されるのだろうか。本物の謙遜を幾らかでも身に付けるにはどうしたら良いのか？。パウロがここで教えるのは自分の内から、自分の努力によってこう云う本物の謙遜を紡ぎ出すことは至難のことだ、と言うことではないか。謙遜とは自分の内に良いものは何もないという心である。この砕かれた心が自分の根底になければどんなに謙遜に振舞おうとしてもそれは偽りの謙遜にしかなれない。謙遜の問題であれ何であれ自分が自分らしくある、この本来の自分の姿を取り戻すには信仰が欠くべからざるものである。神に教えられてこそ私たちは成長することができる。自分でなく、善い処も悪い処も一塊に持っている自分という存在をそのまま一塊に受入れ、包み込んで下さる神を信じ、この神に自分を委ねる事、それを信仰という。

【礼拝心得】

①礼拝は前奏から後奏までを守る。
②入堂したら私語を交さず、前奏までの時を黙想する。
③遅れてきた者は静かに入堂し、特に祈祷の時は入堂を控え、その場で共に祈りを守る。
④礼拝後は互いに挨拶を交し、交わりの時を持つ。
⑤各自週報棚を整理し、欠席者に週報を届ける。